

第5次 新座市総合計画

将来都市像



未来もずっと 暮らしに『プラス』が生まれる 豊かなまち 新座



第5次新座市総合計画は、令和5年度(2023年度)から令和14年度(2032年度)までの10年間における福祉、教育、都市整備など市政の全ての分野の施策を総合的かつ計画的に進めるために策定したものです。

人口減少や少子高齢化などの全国的な問題が進行する中でも、今ある魅力を磨いて未来につなぎ、これからもずっと『プラス』が生まれる人々の笑顔と活気にあふれた豊かなまちを目指します。



◀詳しくはこちら

～ 将来都市像の実現に向けた5つの基本政策 ～



▲保育園で元気に遊ぶ子どもたち

01

福祉健康

みんなにやさしく 誰もが 幸せを感じるまち

地域子育て支援センターなどの子育て支援施設を始め、保育環境の充実や放課後児童保育室と子どもの放課後居場所づくり事業(ココフレンド)との連携、児童発達支援センター(アシタエール)を中心とした発達支援など、安心して子どもを産み、成長の喜びを実感しながら子育てができる環境づくりや支援を行っています。

また、誰もがいきいきと自分らしくいられるために、健康づくりや介護予防の取組の推進、障がい者やその家族を支援する基幹相談支援センターの機能を充実させるなど、地域で支え合う社会づくりを目指します。



子どもの放課後
居場所づくり事業
「ココフレンド」▶



◀地域子育て
支援センター



▲介護予防講座

02 生きる力と生きがいを育むまち

教育文化

市内全公立小・中学校に1人1台のタブレット端末と通信ネットワーク(校内LAN)を整備し、ICTの活用により1人ひとりに合った学びと協働的な学びを組み合わせ、誰一人取り残すことのない教育の実現(にいざGIGAスクールNext5.0)に取り組んでいます。

学校・家庭・地域が一体となり、安心して学ぶことができる学校環境を実現します。

また、スポーツや文化芸術の振興、文化財の保存・活用を推進します。



▲ICTを活用した授業

03 やすらぎと利便性が共存するまち

都市整備

令和5年3月に換地処分の公告を行った大和田二・三丁目地区土地区画整理事業では、物流倉庫や商業施設などの企業誘致、エスロジ新座橋(大和田・坂之下橋)や道路の整備を行いました。同事業地内では、(仮称)大和田三丁目公園の整備(令和6年度末完成予定)も進めており、憩いの場としての利用も期待されます。

今後も、都市高速鉄道12号線(都営大江戸線)の延伸など更なるまちの発展を目指すとともに、人にも環境にもやさしい持続可能なまちづくりを推進します。

また、生活の基盤となる道路の整備や、コミュニティバス(にいバス)を始めとする公共交通の機能強化などにも取り組みます。



ゾウキン
デザインの
電気バス



▲コミュニティバス (にいバス)



▲(仮称)大和田三丁目公園(完成イメージ)



▲大和田二・三丁目地区土地区画整理事業

04 にぎわいと環境が調和するまち

市民生活

市では、令和32年(2050年)までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。ゼロカーボンシティの実現に向け、太陽光発電などの再生エネルギー・省エネルギー設備に対する補助などに積極的に取り組みます。

また、町内会などの地域活動への支援や、農業・商業・工業などの地域経済の振興を図り、賑わいと自然環境が調和する地域づくりを目指します。



▲市庁舎に設置している太陽光発電設備

05 安全・安心を 実感できるまち

安全安心



▲町内会による登下校の見守り活動

市内では町内会やPTA、企業など多くの自主防犯パトロール団体が活動し、地域の安全を支えています。

また、災害への備えを充実させ、被害を最小限に抑えられるように、市民の「自助」、自主防災会などによる地域の「互助」・「共助」、市及び消防・警察の「公助」のそれぞれが連携し、災害に強いまちづくりを推進します。